

# 降雨・霧雨試験装置

## 使用者手引き

(第 2 版)

福島ロボットテストフィールド  
令和 6 年 8 月 30 日

## 改訂履歴

版	施行日	内 容	作 成
1	令和 3年 3月 1日	新規作成	技術課 課長代理 濱 野 漂太郎
2	令和 6年 8月 30日	新フォーマットへの切り替え 操作手順の削除（別紙へ移動）	技術課 担当 国井 陽気

# 目 次

1.	設備概要.....	1
1.1.	基本情報.....	1
1.2.	設置位置.....	2
1.3.	使用事例.....	3
2.	設備画像.....	3
2.1.	設備構成.....	3
2.2.	操作画面.....	4
2.3.	降雨範囲.....	4
3.	使用上の注意.....	4

# 1. 設備概要

## 1.1. 基本情報

名称	降雨・霧雨試験装置
エリア	開発基盤エリア（南相馬）
メーカー名	-
メーカー型番	FRTF-HRS200V-180
導入年	2019年
仕様	
主要諸元	<ul style="list-style-type: none"> <li>・降水量：10～180mm/h 3mm/h（霧雨）</li> <li>・粒径：約1mm(10～90mm/h) 約3mm（100～180mm/h）</li> <li>・降雨範囲：約4m×4m ※高さ2m地点では約3m×3m</li> <li>・降雨ノズル取付高：4m</li> <li>・連続降雨時間：最大600分</li> </ul>
飛行可能エリア	-
施設に含まれる設備、機器	-
保存データの形式・アウトプット	-
事前に用意いただく必要のあるもの	-
使用に必要な免許・資格	-
利用上の注意	-
貸出単位	1
貸出可能な数	1
使用料金	
1時間につき（昼間）	¥2,780
1月につき	-
全日	-
午前・午後	-
1時間につき（夜間）	-
夜間	-
超過（1時間につき）	-
問合せ先	福島ロボットテストフィールド 技術課 TEL0244-25-2476

### 備考

(1) 使用単位の「午前」、「午後」、「夜間」、「全日」、「超過時間」は次のとおりです。

- ◎午前：9時～13時
- ◎午後：13時～17時
- ◎夜間：17時～21時
- ◎全日：0時～24時
- ◎超過時間：0時～9時まで及び21時～24時までの間の1時間

(2) 次のいずれかに該当する場合には、使用料と同額を加算します。

- ①営利の目的で入場料、受講料、会費等を徴収して行事を開催するとき
- ②商品販売、商業宣伝等の営利的性格を有する行為のために使用するとき

(3) 準備のために使用する場合には、使用料を70%に減額します。

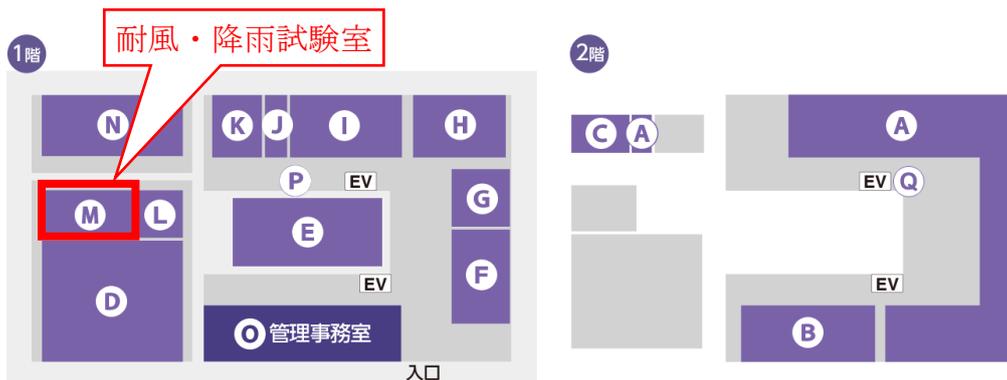
「準備」とは、「参加者を一般から募るイベントのための準備」を指します。

(4) 日をまたいで2日以上継続使用する際、展示物や器材等の保管のためであれば、夜間～早朝の使用料は徴収しません。

(5) 施設に含まれる設備、機器において（★）マークのついたものは、使用時に別途費用が発生します。詳細は対応する使用者手引きを参照ください。

## 1.2. 設置位置

開発基盤エリア 研究棟 耐風・降雨試験室

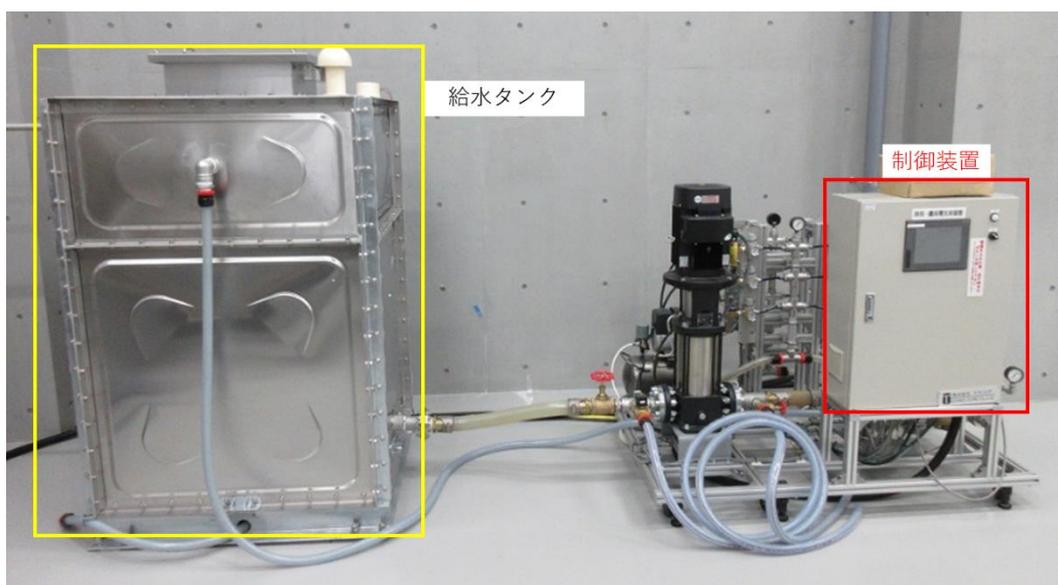
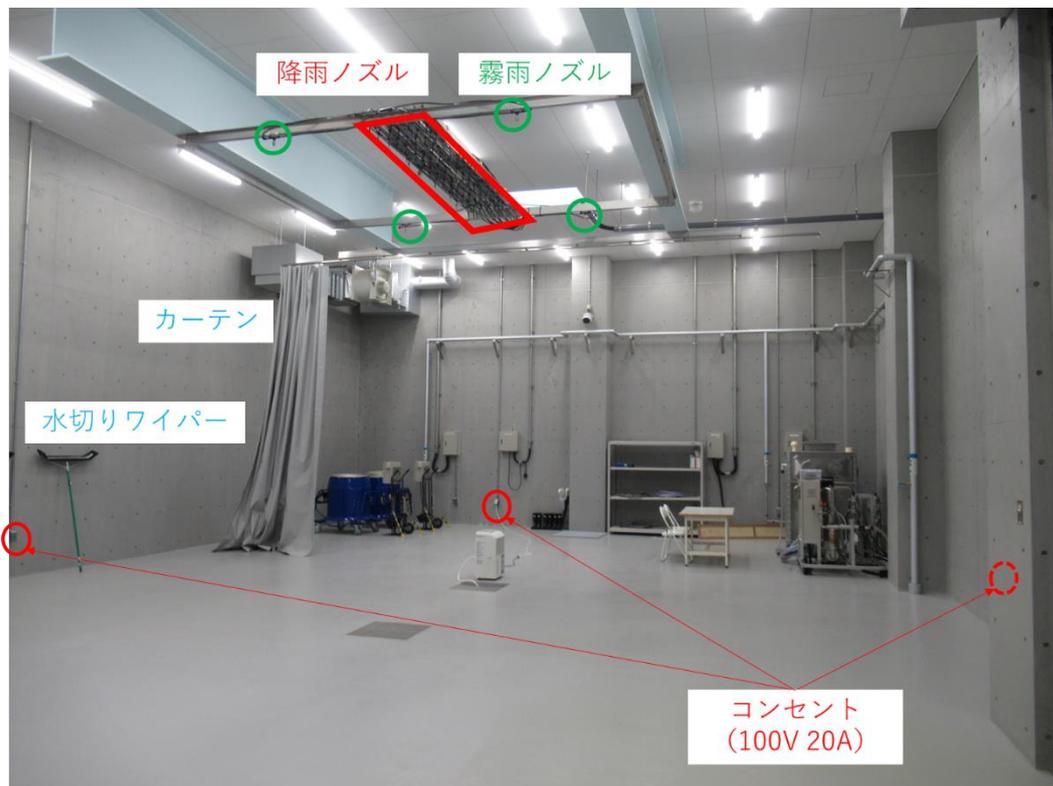


### 1.3. 使用事例

- ・製品の耐水性能評価
- ・降雨環境下でのセンサ性能評価

## 2. 設備画像

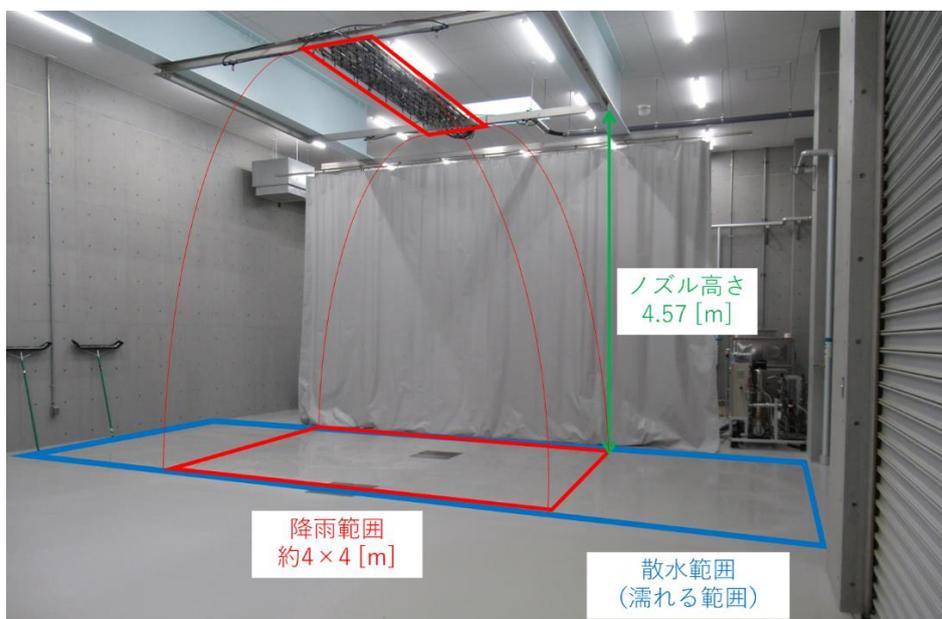
### 2.1. 設備構成



## 2.2. 操作画面



## 2.3. 降雨範囲



## 3. 使用上の注意

- (1) 通電させた状態の被試験体に対して降雨・霧雨装置を使用する場合は、事前に技術課へご相談ください。
- (2) 感電、火災及び機器故障の恐れがあるため、使用前に制御装置の扉、コンセントカバーが閉じていることを確認し、水をかけないでください。
- (3) 試験終了後、床の水は水切りワイパーで排水溝へ流してください。
- (4) 使用料金が発生する使用時間の設定条件は下記のとおりです。
  - (ア) 作業等のために耐風・降雨試験室内に使用者がいる間
  - (イ) 降雨・霧雨試験装置が稼働している間

- (5) 試験体などの事前送付をご希望される場合は、事前に技術課へご相談ください。
- (6) 使用者様ご自身でお越しいただき、試験に係る作業を行ってください。

※装置の使用方法等につきましては当初職員が説明いたします。

また操作説明書は耐風・降雨試験室内にございます。